

熱処理技術 外熱キルン

加熱温度を正確に制御したい、炉内の雰囲気調整を行いたい、不純物(コンタミ)の混入を最小限に抑えたい場合、外熱キルンによる熱処理がお勧めです。

無機粉体の受託加工

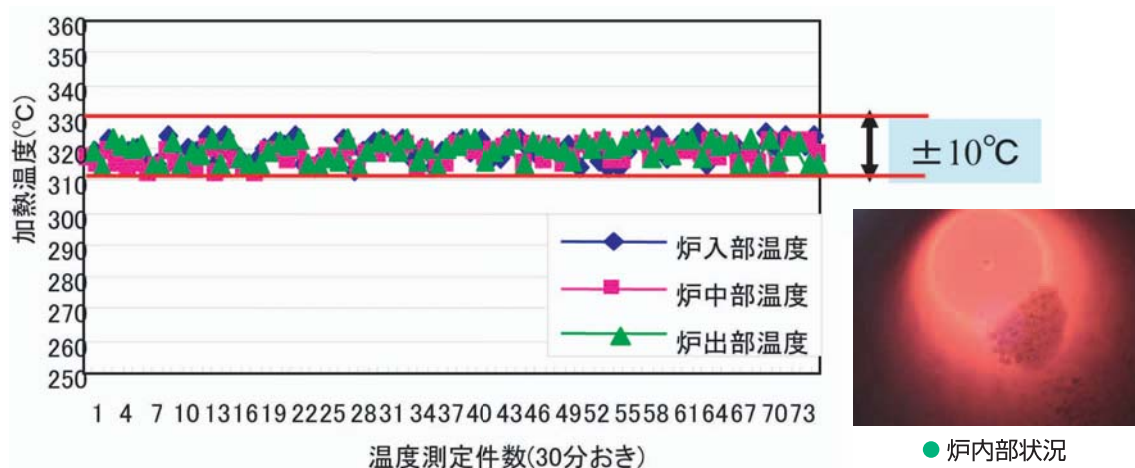
外熱キルンとは？

炉材にステンレス、セラミックスなどを使用し、炉材外部より電気ヒーターで炉を加熱する円筒型回転炉。

中央部に設置された電気ヒーターで炉を加熱させ、炉の傾斜と回転の制御により原料を窯内で移動させ、原料の加熱時間を調整します。

外熱式ロータリーキルンの特徴

1,000℃までの熱処理に対応でき、温度制御は設定値 $\pm 10^{\circ}\text{C}$ 。酸化、還元いずれの雰囲気焼成にも対応できます。



熱処理技術
外熱キルン

お問い合わせ先

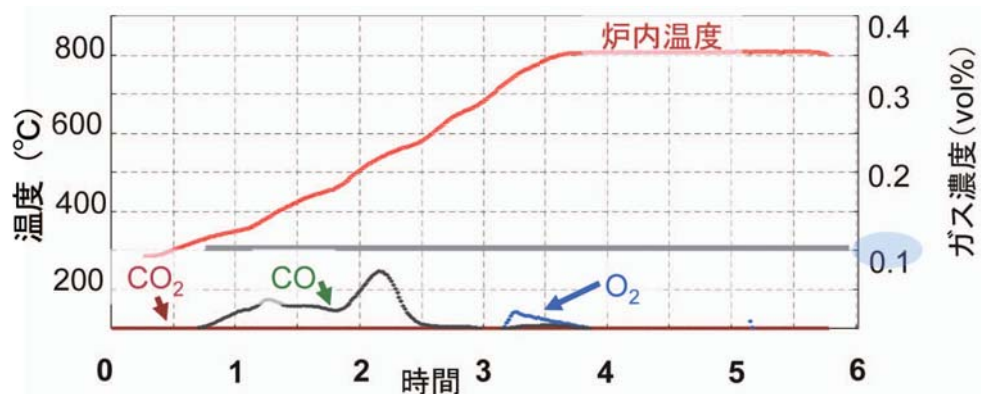
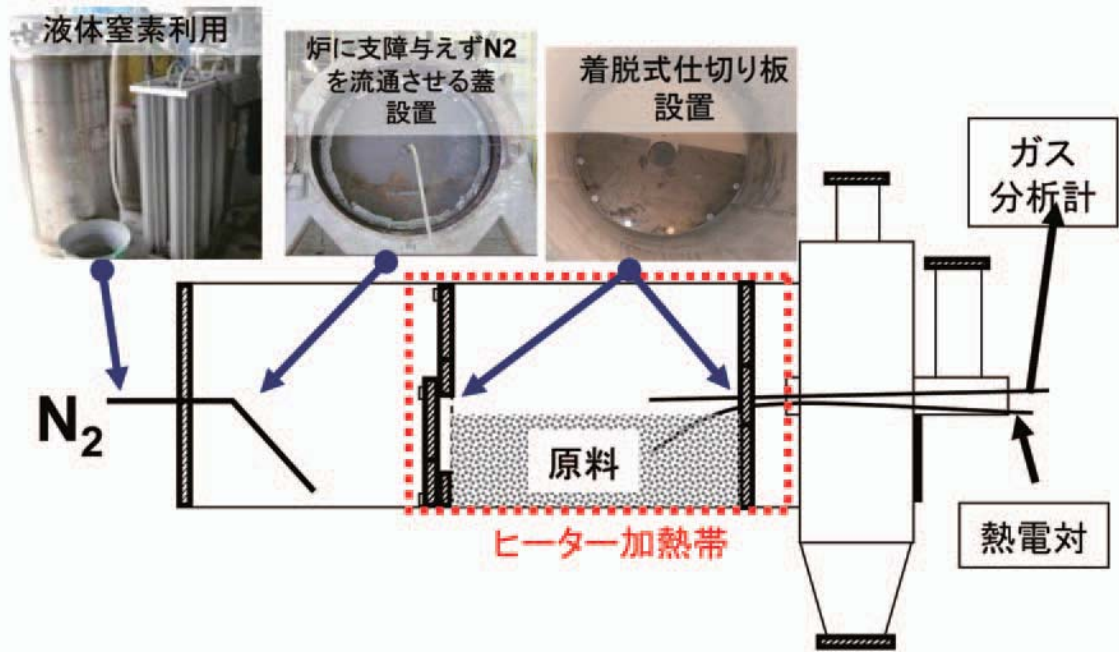
 **Taiheiyo Consultant**
株式会社 太平洋コンサルタント

《西日本営業部》
〒756-0817 山口県山陽小野田市大字小野田6276
TEL 0836(83)3358 / FAX 0836(83)7058
<http://www.taiheiyo-c.co.jp>

外熱式ロータリーキルンの使用例

炉内に着脱式の仕切り板を設置し、バッチ式焼成を実施。

炉内に窒素ガスを流し、強還元雰囲気(炉内の酸素濃度を0.5%以下)に調整し熱処理を実施。



外熱式ロータリーキルンの特長と用途例

《 外熱キルンの特長 》

雰囲気調整可能
正確な温度制御
温度分布が一定
不純物の混入が少ない
バッチ処理にも対応可能

高付加価値化

- ☆高純度材料の製造
 - 電子材料用生石灰
 - 高純度シリカ原料
- ☆高機能材料の製造
 - 触媒
 - 中空材料
 - 表面被覆材料